

ストラテジックSCMコース

Strategic SCM Course

戦略的視点で学ぶ「最先端の SCM」

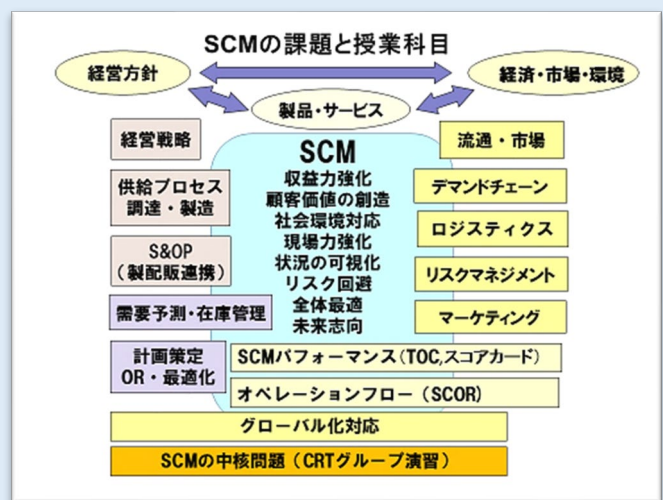
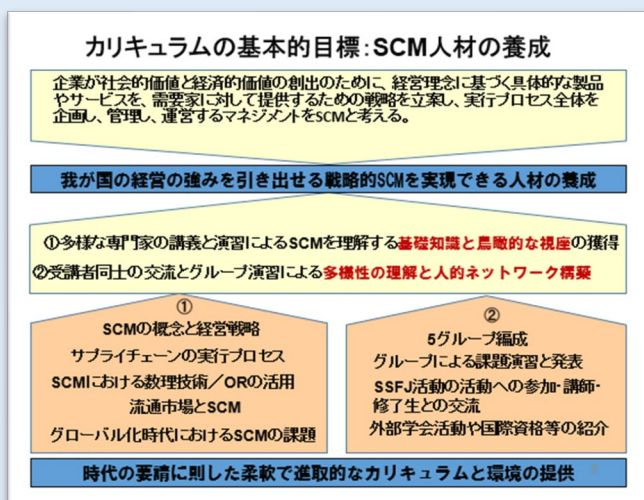
講演会・受講説明会 2021 年 8 月 23 日(月)19:00~21:00 (参加無料)
2021 年度秋期 2021 年 10 月 ~ 2022 年 3 月(全 20 回)

※講演会・受講説明会、秋期コース共にオンラインにて開催予定(参加方法はパンフレット裏面をご参照ください)

ストラテジック SCM コースの特徴

- 国内外の第一線で活躍する実務家、コンサルタント、学識経験者による充実した講義
- 戦略的な視点から経営科学的なアプローチも含めた国際的な水準のカリキュラム
- 各期 30 名の少人数制による密度の高い情報交流とグループディスカッション
- 講師陣、受講者、コース OB・OG による日本有数の SCM 人材ネットワークの形成

ストラテジック SCM コースでは我が国の SCM を担うプロフェッショナルを育成します



ストラテジックSCMコース

講演会・受講説明会のご案内《参加無料》

日 時: 2021 年 8 月 23 日(月) 19:00~21:00

開催方式: オンライン開催(Zoom ウェビナー使用)

SCM 業務の最前線でご活躍する方に、SCM に関する最新情報等についてご講演をいただきます。そして、ストラテジックSCMコースのコースコーディネーターが、本コースの受講をご検討いただくにあたっての狙いや内容についてご説明いたします。

本コースでは国内外の第一線で活躍する実務家、コンサルタント、学識経験者を講師に迎え、国際的な水準を意識したカリキュラム、少人数制による講義とグループ演習によりSCMのプロフェッショナルを育成しております。受講をご検討の方や SCM に関する最新動向にご興味がある方は、ぜひご参加ください。

※講演会・受講説明会および授業はオンラインにより行われます。参加方法は、本パンフレットの裏面をご覧ください。

【講演会】 19:00~20:00

「脱炭素・デジタル社会実現への物流ビジョン ～SDGs/ESG 対応と DX による企業価値向上」

今や脱炭素化とデジタル化、その背景をなす SDGs/ESG への対応は、荷主企業にも物流企業にも喫緊かつ最大の経営課題となっています。

そこで本講演では 2030 年にあるべき脱炭素・デジタル社会の姿からバックキャストで、物流、サプライチェーン・ロジスティクスに今、求められる対応を描出します。同時に誤解の蔓延する SDGs/ESG/DX の本質を再確認し、企業価値向上への道筋を探ります。

講演者 エルテックラボ L-Tech Lab 代表 菊田 一郎 氏

83 年流通研究社入社、90 年より月刊「マテリアルフロー」編集長、2017 年より代表取締役社長。2012 年より「アジア・シームレス物流フォーラム」企画・実行統括。2017 年より大田花き(株) 社外取締役(現任)。2020 年 6 月 1 日に独立、L-Tech Lab(エルテックラボ、物流テック研究室)代表として著述、取材、講演、アドバイザリー業務を軸に活動開始。同 6 月より(株)日本海事新聞社顧問、同後期より流通経済大学非常勤講師。

【受講説明会】 20:00~21:00

ストラテジック SCM コースのねらい・概要と特色を中心に、本コースの内容と受講への流れを説明します。

説明者 マネジエンス 代表 高井 英造 氏

ストラテジック SCM コース コースコーディネーター・講師

三菱石油(株)数理計画部、エネルギー調査部長を経て、静岡大学人文学部経済学科 教授(経営情報論)、多摩大学大学院 客員教授、文部科学省科学技術政策研究所科学技術動向研究センター 客員研究官等を歴任。日本オペレーションズリサーチ学会 フェロー、日本生産性本部 APICS 日本代表部顧問

【個別相談と願書・志望理由書受付】 21:00~

コースコーディネーターが本コースに関する個別相談を行います。

願書・志望理由書の受付もいたします。

講演会・受講説明会のオンライン開催にあたって

《必ず事前に確認してください》

・本講演会・受講説明会は Zoom ウェビナーを利用して実施します。事前に受講で利用するデバイスにミーティング用 Zoom クライアント等をインストールのうえ、以下の Zoom 接続テスト URL にアクセスし、受講に支障がないことを確認してください。
Zoom クライアントが利用できない場合はご参加いただけません。⇒ Zoom 接続テスト URL <https://zoom.us/test>

【オンライン開催でのご参加に際して】

日本ロジスティクスシステム協会(以下「主催者」という)が定める「JLS オンライン研修受講にあたってご承知いただきたいこと(※)」と、以下の事項の内容をお読みいただき、内容についてご理解、ご承諾のうえお申込みください。

(※確認先 URL: <https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/onlinekensyu.pdf>)

- ・本講演会・受講説明会の受講者は申込時に登録した受講者に限定し、1 人 1 台のデバイスでご参加いただけます。
- ・主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本講演会・受講説明会を期間限定で配信します。
- ・受講者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- ・本講演会・受講説明会の録画、録音、撮影は禁止します。
- ・受講者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の受講を中止させることがあります。

2021 年度 秋期（第 24 期） ストラテジック SCM コース開講のご案内

会期：2021 年 10 月 8 日 ～ 2022 年 3 月 11 日（全 20 回）

SCM についてのランキングに世界的な調査会社 Gartner が毎年発表する Supply Chain Top 25 があります。これは 2010 年にはじまったものですが、直近の 2020 年までその間日本企業の名前は 2014 年トヨタの 24 位の 1 回限りで、改善や現場の見える化で“ものづくり”の工業化社会では世界をリードした日本企業の名前はあがってきません。なぜでしょうか。

今でも日本企業は現場の力は世界一で地道な改善を積み上げていく一方、海外のライバル企業は、強力な“モノ”から“コト”のビジネス戦略と DX（デジタル・トランスフォーメーション）によるサプライチェーン全体の見える化と SCM 理論に基づく価値創造のもとに一気に勝者となる傾向が見られます。この課題を克服するためには、トップマネジメントを巻き込みつつ、部門や組織の壁を越えて大胆な戦略的 SCM のプランを立ち上げることが不可欠でしょう。

本講座は、2010 年に東京工業大学を中心に集まった SCM の第一線で活躍されている企業の方々や教育・研究者の議論の中から立ち上げられました。そこから今日まで、業種や専門の壁を超えた多様な約 500 名の修了生を世に送り出し、その同窓生のネットワークも世界に広がっています。この輪自体も本講座の価値を構成する財産です。

現在、新型コロナウィルスが世界中で蔓延し、社会経済に大きな打撃となっています。このような世界を揺るがす緊急事態は、リーマンショックがそうであったように、歴史のプロセスの早送りや変革（例えば GAFA の台頭）をする絶好のチャンスでもあります。そうした機会を捉えて、戦略的なビジネス改革に果敢に取り組もうとする方々は是非、本講座の受講をお勧めします。我々講師陣とともに、改革実現のための具体的な切り口を見出していきましょう。

【コース代表講師】

東京工業大学 名誉教授、職業能力開発総合大学校 名誉教授 圓川 隆夫



2021 年度 秋期（第 24 期）ストラテジック SCM コース カリキュラム

講義（20 回）：金曜日 19:00～21:00 課題発表会・修了行事：最終講義後の土曜日 13:30～18:00

	内容		内容
10/8	オリエンテーション/SCM の全体像と授業科目	＜サプライチェーンの実行プロセス＞	
	＜SCM の概念と経営戦略＞	1/7	SCM 性能の見える化 ～SCM スコアカードと SCM の課題～
10/15	SCM と経営 その 1	1/14	プロセスモデル(SCOR)による業務プロセス改革
10/22	SCM と経営 その 2	1/21	スケジューリングとサプライチェーン BOM
10/29	経営戦略とビジネス・ロジスティクスの新たな方向性について	1/28	サプライチェーン経営戦略と組織能力
11/5	SCM 実現を阻む根拠問題を探る ～CRT を用いたグループワーク演習～	2/4	サプライチェーン計画マネジメントと S&OP
	＜流通市場と SCM＞	＜SCM における数理技術/OR の活用＞	
11/12	消費財流通のチャネル戦略と SCM	2/18	SCM における需要予測・在庫最適化と生産管理方針
11/19	サービスイノベーションと SCM/DCM 連携	2/25	OR を使った最適化モデルと企業戦略への活用
11/26	SCM のリスク・マネジメント	3/4	SCM における OR の活用～意思決定を助ける経営科学
12/3	マーケティングと SCM	＜総括＞	
12/10	ロジスティクスマネジメントと SCM 部門の役割	3/11	経営戦略と SCM・SCM 改革のためのチェンジマネジメント
12/17	サプライチェーン可視化とトレーサビリティ	＜課題研究発表会・修了行事＞	
※諸事情により講義の日程及び順序等は変更される場合があります。		3/19 (土)	課題研究発表会・修了行事

■「CRT による課題演習」では、受講者はグループに分かれ、共通のテーマ(SCM改革プロジェクトを成功させるには)について、講義内容を参照しながら討議・研究をして、課題発表会にて発表を行います。

講師	所属・役職	担当講義
圓川 隆夫	東京工業大学 名誉教授、職業能力開発総合大学校 名誉教授	SCM と経営 その 1、SCM と経営 その 2
高井 英造	マネジエンス 代表	SCM における OR の活用～意思決定を助ける経営科学
橋本 雅隆	明治大学 専門職大学院 グローバルビジネス研究科 教授	経営戦略とビジネス・ロジスティクスの新たな方向性について
鈴木 定省	東京工業大学 工学院 経営工学系 准教授	SCM 実現を阻む根底問題を探る、SCM 性能の見える化
市川 隆一	(株)サプライチェーン経営研究所 代表取締役	消費財流通のチャネル戦略と SCM
碓井 誠	(株)オピニオン 代表取締役、京都大学経営管理大学院特別教授	サービスイノベーションと SCM/DCM 連携
川島 孝夫	東京海洋大学大学院 評議員(前教授)	SCM のリスク・マネジメント
中村 潤	中央大学国際経営学部教授、合同会社 Space4Labo アドバイザー	マーケティングと SCM
荒木 協和	サンスター(株) コーポレートグループ ロジスティクス担当 理事	ロジスティクスマネジメントと SCM 部門の役割
森川 健	(株)野村総合研究所 上級コンサルタント	サプライチェーン可視化とトレーサビリティ
三枝 利彰	(株)フレームワークス シニアディレクター・コンサルタント	プロセスモデル(SCOR)による業務プロセス改革
垣見 祐二	和歌山大学経済学研究科 客員教授	サプライチェーン経営戦略と組織能力
中山 健	(株)日立ソリューションズ東日本 チーフコンサルタント	生産スケジューリングとサプライチェーン BOM
貝原 雅美	SAMIコンサルティング(株) 代表取締役	サプライチェーン計画マネジメントと S&OP
野本 真輔	(株)構造計画研究所 知識デザイン部	SCM における需要予測・在庫最適化と生産管理方針
伊倉 義郎	(株)サイテック・ジャパン 代表取締役社長、東京工業大学 講師	OR を使った最適化モデルと企業戦略への活用
藤野 直明	(株)野村総合研究所 主席研究員	経営戦略と SCM、SCM 改革のためのチェンジマネジメント

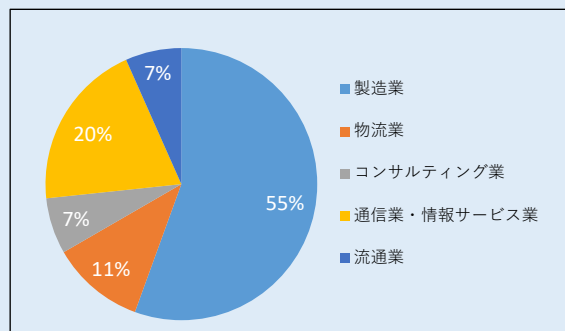
【このような方に受講をお勧めします】

戦略的 SCM の構築や改革は、経営的な視点(総合的、鳥瞰的な視点)をもって、全社的な立場から推進されなければなりません。そのためには経営トップの SCM への積極的な理解と、優れたプロジェクトリーダーの存在が不可欠です。また、情報システムのリーダーが SCM への造詣を深め、システム構築がされることも重要な要素です。

このような観点から、本コースは経営幹部の方々や、経営企画部門のスタッフの方々と共に、全社的な情報システムの企画・構築に当たられる方々にも受講していただきたいと考えています。

また、すでに企業等において、サプライチェーン、物流管理に関する業務の経験を持ち、解決すべき課題や問題意識を持っている経営者や中堅幹部社員の方々、システム部門の方々に参加いただいて、専門的な知識の習得と実務に即した能力を身につけていただきたいと考えています。

【受講者の業種比率(2020 年度)】



【受講者の声】

- 「SCM を志すさまざまな職種の方と、多様な問題意識をぶつけ合い理解を深めることができました。」
- 「全体のプロセスを見て問題を認識することが、解決策を生み出し企業の成功へ導くスタート地点だということを、実務経験豊富な講師の授業とグループ課題演習での議論を通して学びました。」
- 「SCM の推進に関心を持つ講師やクラスのメンバーと交流でき、コース終了後も繋がるきっかけを作れたことは最大の収穫です。」

講演会・受講説明会参加申し込み(無料)

■ 講演会・受講説明会参加申込 ■

<https://sforce.co/36Hq8y>

日時・定員・参加費・会場

日 時: 2021 年 8 月 23 日(月) 19:00~21:00

定 員: 100 名 参加費: 無料

開催方式: オンライン開催(Zoom ウェビナー使用)

■□ 講演会プログラム □■

タイトル: 脱炭素・デジタル社会実現への物流ビジョン
～SDGs/ESG 対応と DX による企業価値向上

講演者: 菊田 一郎 氏 (エルテックラボ L-Tech Lab 代表)

ストラテジック SCM コース 受講申込

本コースにお申し込みいただくには、E-mail にて願書・志望理由書をご提出いただきます。願書・志望理由書は、原則として 8 月 23 日に開催する講演会・受講説明会以後に受付をいたします。お申し込み方法の詳細はホームページの募集要項をご覧ください。

ストラテジック SCM

検索

定員・受講料・会場

定 員: 30 名

受 講 料: 198,000 円/1 名(税込)(協会会員・会員外共通)

開催方式: オンライン開催(Zoom ミーティング使用)

※新型コロナウイルスの感染拡大状況などにより開催方式が変更となる場合がございます。